

詩篇 第1篇

1. 悪しき者の はかりごとに 歩まず、罪びとの 道に 立たず、あざける 者の 座に
すわらぬ 人は さいわいである。

2. このような 人は 主の おきてを よろこび、昼も 夜も その おきてを 思う。

3. このような 人は 流れの ほとりに 植えられた 木の 時が 来ると 実を 結び、
その 葉も しぼまないように、その なすところは 皆 栄える。

4. 悪しき 者は そうで ない、風の 吹き去る もみがらの ようだ。

5. それゆえ、悪しき 者は さばきに 耐えない。罪びとは 正しい 者の つどいに
立つことが できない。

6. 主は 正しい 者の 道を 知られる。しかし、悪しき 者の 道は 滅びる。